

令和4年度実施分

勝浦市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策評価シート

基本目標1 安定して働くことのできる場の確保

●数値目標	基準値	6,922人	実績値	R3	R4	R5	R6	R7
個人住民税所得割納税義務者数	目標値	6,619人		6,761人	6,732人			

【施策1】 農林水産業の振興

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	農業者数			達成度	指標2	漁業者数			達成度
基準値	2,403人	目標値	2,330人		基準値	1,965人	目標値	1,868人	
年度	実績値		達成率		年度	実績値		達成率	
R3	2,374人		101.89%	B	R3	1,921人		102.84%	B
R4	2,348人		100.77%		R4	1,901人		101.77%	
R5			0.00%		R5			0.00%	
R6			0.00%		R6			0.00%	
R7			0.00%		R7			0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
新規就農者及び後継者の確保・育成の支援	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、給付金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 令和4年度は就農の相談は数件あったものの、新規の就農には至らなかった為、当該給付事業に関する該当者がいなかった。	農業者の減少、耕作放棄地の増加など農業を取り巻く環境は依然として厳しいことから、意欲のある担い手の確保は必要。 令和4年度から従前の農業次世代人材投資事業にかわり新規就農者育成総合対策事業が新設され、制度の周知と併せ新規就農者の確保、育成に取り組む。
新規漁業者及び後継者の確保・育成の支援	担い手確保の手段として、例年「漁業就業支援フェア」等に本市をはじめ、漁業関係者も参加しているが、本年度はコロナ過にあり、イベント自体が中止となった。	本市の基幹産業である水産業を支えるうえでも担い手の確保は必要不可欠であるため、関係機関と連携し、幅広く新規就労者の確保に取り組む。
勝浦漁港への外来漁船誘致活動の促進	勝浦漁港入港外来漁船の船籍地訪問、水揚優秀船の表彰（賞旗、記念品等）、無料入浴券の交付を行う。 乗務員不足や高齢化の影響により、廃業も多い状況にある。例年実施している外来船の船籍地訪問は新型コロナの影響により実施できず、表彰については配送により実施した。	勝浦漁協の水揚げの多くは外来漁船によるものであり、本事業による経済効果は水産業をはじめ、商工業にも及んでおり、引き続き事業を継続していく。
勝浦産農林水産物等の地場産品のブランド化及び販売促進	県内宿泊施設や百貨店で「勝浦産カツオ」をPRした他、漁業協同組合と連携し、イベントを通じて「勝浦釣り寒マカジキ」、「勝浦灯台沖きんめ鯛」、「勝浦産イセエビ」等の勝浦産水産物をPRし知名度の拡大を図った。 また、主要作物である勝浦産米のブランド化に向けた検討を始めた。	イベント等で勝浦産ブランド水産物をPRする他、農林業・商工業・観光業と連携を図り、勝浦ブランドの知名度を拡大し、販路拡大に努める。 勝浦産米のブランド化については、新たに農業再生協議会等で検討を進める。
農林水産業の基盤づくりの強化	機能保全計画に基づき、漁港施設の機能回復を目的とした浜行川漁港正面物揚場側溝蓋補修工事及び松部漁港区域内橋梁改修工事に向けた基本設計業務を実施した。 また、市内3地区（名木木戸・大森・大楠）にて土地改良事業を実施、農地の基盤整備を進めた。	効率的で効果的な漁港・漁場施設の更新を図るため、当該施設の老朽化状況を調べた機能診断結果による機能保全計画及び個別施設計画に基づき保全工事を行う。 農地の基盤整備については、引き続き市内3地区で土地改良事業を実施する。

委員評価	農林水産業の基盤づくりに努めること。また関係機関連携のうえ、担い手の確保に努め、農林水産業の振興を図ること。
------	--

【評価凡例】

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標1 安定して働くことのできる場の確保

【施策2】 商工業の振興

●重要業績評価指標(KPI)

指標1	新規利子補給事業者数(延べ)		達成度
基準値	目標値	70事業者	
年度	実績値	達成率	C
R3	7事業者	10.00%	
R4	9事業者	12.86%	
R5		0.00%	
R6		0.00%	
R7		0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
商工会と連携した商店街の活性化	令和3年度に創設した空き店舗等活用起業補助金にて、空き店舗等を活用した事業展開を支援した。空き店舗ではあるものの住宅兼用の物件が多く、円滑なマッチングが課題である。商店街においては、コロナ禍での大規模なイベント企画の開催が難しいなか、地域住民に足を運んでもらい、親しみある商店街企画を実施した。他、オンライン注文及び共同配送・ドローン配送により地域に密着した販売促進を図った。災害対応等ドローンの他目的利用モデルの調査開発も行った。また、イベントを通じて商店会員相互の協力関係が深まったことから組織としての強化につながった。	空き店舗の活用において、補助金を活用した支援を続ける一方、勝浦市商工会と連携し起業希望者と物件の円滑なマッチングに努める。また、補助金上限額について増額の要望があるため、今後検討していく。消費低迷が続く商店街においては、販売機会の創出による商店街の活性化を図る。令和4年度に整備したECモール及びドローン配送ルートについては、令和5年度は更なる利用促進のため、取扱商品数、協力店舗の増加を図る。また、サービスや使いやすさの改善を進めるとともに、広報活動を実施することで幅広い年齢層の利用を促す。また、勝浦市商工会を通じ各商店会が独自に行う事業に対し補助金を交付し、商店街の組織強化につながる取組を支援する。
起業・創業・事業承継希望者に対する支援体制の強化	創業のノウハウを学ぶ「かつうら創業塾」が、特定創業支援者である商工会主催により開催され、受講生から創業に至った事業者があった。また、創業に関する融資への利子補給により創業に向けた支援を行った。	商工会をはじめとする各種団体と連携し、創業希望者の掘り起こしや相談、創業塾の開催等により創業支援に努めていく。
優遇措置等のPR等による企業誘致の促進	企業立地奨励制度や雇用促進奨励金を周知し、企業の誘致を図る。コロナ禍にあり、企業訪問を実施することが出来ず、また、企業も事業活動の自粛傾向であった。	本市の地理的状況等を踏まえ、特性にあった企業誘致を進める。
中小企業の経営近代化の促進	中小企業資金融資制度を活用し、中小企業経営の合理化及び設備の近代化等を促進する。コロナ禍で、事業者への融資制度に対する実質無利子・無担保による支援制度など、コロナ対応型の融資を事業者が活用したため、本市制度融資の利用はなかった。	引き続き、市制度融資の運用を継続しながらも、国県の動向を見極めつつ、事業者にとって有利な制度の利用促進に努める。

委員評価

勝浦市商工会との連携により、更なる起業・創業の支援に努め、商工業の振興を図られたい。
また、新たな配送サービスによる商店街等賑わい創出事業での販売機会の増加を図り、商店街の活性化に努めること。

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

●数値目標	基準値	△112人	実績値	R3	R4	R5	R6	R7
人口の社会増減数	目標値	△583人		△ 167人	△ 201人			

【評価凡例】

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

【施策1】 観光振興による交流人口の拡大

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	観光入込客数			達成度	指標2	市内宿泊客数			達成度
基準値	900千人	目標値	1,197千人		基準値	312千人	目標値	414千人	
年度	実績値		達成率		年度	実績値		達成率	
R3	327千人		27.32%	C	R3	220千人		53.14%	C
R4	519千人		43.36%		R4	229千人		55.31%	
R5			0.00%		R5			0.00%	
R6			0.00%		R6			0.00%	
R7			0.00%		R7			0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
新たな体験型観光メニューの開発	体験型観光は顧客満足度の向上につながることから、地域特性を活かしたコンテンツづくりが重要である。地域特性を活かしたコンテンツづくりを進めた。	多様化する観光ニーズに対応しつつ地域資源を活用した体験型観光を推進する。
地域資源を活かした観光イベントの開催	かつうらビックひな祭りは、コロナ禍により3年間中止となっていたが、4年ぶりに開催した。コロナ前と同水準の入込があったものの、準備や運営に関わるボランティアスタッフ等が不足していた。 また、かつうら若潮まつりはコロナ禍のため、開催規模の縮小と回数の分散など、従来とは異なる開催方法を導入して実施された。	実施主体団体と共に、人手不足のなか、事業継続に向けた開催方法の検討を進め、適正規模での開催を目指す。
観光地の基盤づくりの強化	観光協会組織強化に向けて、地域活性化起業人を委嘱し、観光コンテンツの企画・立案・実行及び観光プロモーションを実施した。	地域DMOである勝浦市観光協会の組織強化を図り、観光関連事業者と連携したオール勝浦での観光振興体制づくりを進める。
戦略的な情報発信及びプロモーションの実施	観光PRイベントへの出展や観光パンフレットの印刷配布したほか、観光情報を勝浦市観光協会HPへ集約し、情報発信の充実・一元化を図った。	観光客の情報収集方法が変化していることから、観光プロモーションのあり方を検討し、情報発信の充実に努める。
観光ぶらっとフォーム事業	登録DMOである勝浦市観光協会を中心に、情報の一元化を図り、HPの充実やSNSを活用した情報発信や観光案内を行った。 また、コロナ禍による水際対策の強化などにより、訪日客が減少していたが、今後のインバウンド回復に向けた外国人旅行者の受入に向けた取組が必要である。	訪日教育旅行の受入をはじめ、インバウンド回復に向けた取組を推進しつつ、関係団体と連携した魅力ある観光地づくりを推進する。
かつうら海中公園再生計画事業	魅力的な観光地の基盤づくりの強化を図り、観光産業、農林水産業等の振興に資するため、滞在型観光施設を建設し、指定管理者による管理運営を実施した。	引き続き、滞在型観光施設を指定管理者による管理運営を実施するとともに、海中公園周辺の整備を行う。

委員評価	観光入込客数の回復の兆しがみられることから、観光関連団体と連携の上、効果的なPRにより更なる観光入込客数の増加に努められたい。また、完成した滞在型観光施設を中心に、周辺施設への波及を促すこと。
------	--

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

【施策2】 移住・定住施策の促進

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	空き家バンク成約件数(延べ)			達成度	指標2	若者等定住促進奨励金交付件数(延べ)			達成度
基準値	-	目標値	60件		基準値	-	目標値	67件	
年度	実績値		達成率		年度	実績値		達成率	
R3	4件		6.67%		R3	4件		5.97%	
R4	8件		13.33%	R4	19件		28.36%		
R5			0.00%	R5			0.00%		
R6			0.00%	R6			0.00%		
R7			0.00%	R7			0.00%		

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
移住・定住相談体制の充実	移住・定住相談窓口を設置し、問い合わせ対応を行った。 また、Web会議システムを利用したオンライン移住相談を実施することで、幅広い世代へ相談対応ができる体制づくりを行った。	全国的に地方移住への関心が高まる中、あらゆる世代への相談に対応できるよう、移住関連情報の収集を継続的に行い、庁内での連絡・協力体制を充実させ、市全体として移住相談へ取り組んでいく必要がある。
移住ポータルサイトやSNSによる移住地としての魅力発信	移住ポータルサイトや定住促進SNS公式アカウントを通じた情報発信により、ポータルサイトの訪問者数やSNSのフォロワーも前年度と比べて増加し、移住及び定住の推進に寄与した。	住まいや仕事、子育てや医療といった移住者向けの掲載情報を更に充実させていく。
空き家バンク制度の活用による住まいに関する情報提供	空き家バンクホームページへの物件掲載により情報提供を行った。また、市内空き家バンク協定締結事業者等と協力しながら、物件情報の掘り起こしを実施し、制度活用を推進した。	空き家物件の情報について、他媒体への掲載など発信力の強化を目指しつつ、引き続き新たな空き家物件の掘り起こしを行っていく。
若者やテレワーク実施者にターゲットを絞った定住促進施策の実施	移住ポータルサイトでの制度周知等により、前年度よりも若者等定住促進奨励金、移住支援事業支援金の交付件数が増加し、移住及び定住の促進に効果があった。	制度利用にあたっての条件が適正か検討する必要がある。また、移住者を定着させるための定住支援についても検討する必要がある。
特色ある学校教育の推進	令和4年度においては千葉工業大学と連携したロボットを用いた教室を行うなど、学校毎に特色ある教育活動を展開することができたが、内容において学校間において開催頻度など格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。	国際武道大学や千葉工業大学など関係機関と連携した教育活動を展開していく。
地域全体で子どもの学びや成長を支える地域づくりの推進	学校支援ボランティア制度実施要項に基づき、ボランティアによる登校時見守りや、図書室蔵書整理などの学校支援活動事業を実施した。 また、小学生、中学生に多様な体験活動を実施し、学習支援や英語教室、水泳教室、地域未来塾などを実施した。	地域との連携は非常に重要であり、子供たちにとって大変有意義な学習や体験ができ、今後も継続すべきと考える。

委員評価	引き続き移住・定住施策を実施するとともに、子育て世帯への支援の充実をPRし、定住の促進に努めること。 また、空き家バンクへの登録増加に努めること。
------	--

基本目標2 新しい人の流れや関係づくりの構築

【施策3】 関係人口の増加に向けた取組の推進

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	ふるさと納税寄附件数		達成度
基準値	97,972件	目標値 98,000件	
年度	実績値	達成率	A
R3	219,135件	223.61%	
R4	438,273件	447.22%	
R5		0.00%	
R6		0.00%	
R7		0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
友好都市との交流促進	イベント交流については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部、実施できなかったが、コロナ前の交流に戻りつつある。 また、今年度は全国勝浦ネットワーク会議を勝浦町で開催することができ、首長同士の交流が深まった。	イベント交流を継続するとともに、全国勝浦ネットワーク会議での取り決め事業のうち、特に文化交流にについて確実に実施する必要がある。
ふるさと納税のPRの強化	返礼品の新規追加を行った。 寄附受入額の増加を図るため、新たなポータルサイトの増設を協議し、令和4年9月より開始した。	民間委託などの業務の効率化及び寄附者の利便性の向上を推進するとともに、新たな返礼品の追加を検討し、寄附受入額の増額を図る必要がある。

委員評価	引き続き、ふるさと納税を活用することによる、関係人口の増加に努めること。
------	--------------------------------------

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

●数値目標	基準値	1,195人	実績値	R3	R4	R5	R6	R7
年少人口(0～15歳未満)	目標値	908人		1,137人	1,069人			

【施策1】 結婚のしやすい環境づくり

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

●重要業績評価指標(KPI)

指標1	婚活支援イベント開催回数			達成度
基準値	5回	目標値	5回	
年度	実績値		達成率	
R3	0回		0.00%	D
R4	0回		0.00%	
R5			0.00%	
R6			0.00%	
R7			0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
婚活支援体制の充実	平成29年度より、結婚を望む未婚者に対し出会いから成婚までの支援を目的とした、婚活支援員(現在10名の支援員登録)による結婚相談制度を運用している。婚活支援員には、婚活イベント業務を委託していたが、コロナの影響もありマッチング(お見合い)や婚活イベントは実施できなかった。	引き続き婚活支援員に対し、結婚相談所マッチングや婚活イベントの業務委託を継続して委託し、結婚を希望する男女の出会いの場を創出する。
婚活イベントの開催等による男女の出会いの場の創出	女性限定で、婚活支援員による結婚相談などを行う「縁Salon」、市内寺院を会場として行う「寺コン」といった婚活イベントを計画していたが、コロナの影響で中止とした。	引き続きマッチングと婚活イベントの実施を計画しているが、女性の参加が少ないなどの課題があることから、婚活支援員と協議しながら、女性へのアプローチや広域的なイベント開催を検討する。

委員評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、婚活支援イベント等が実施できていないことから、従来の取り組みに加え、新たな方法も検討・実施することで、結婚しやすい環境づくりの充実に努めること。
------	---

【評価凡例】

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

【施策2】 妊娠期から乳幼児期における支援

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	1歳6ヶ月児検診受診率			達成度	指標2	3歳児検診受診率			達成度
基準値	86.5%	目標値	100.0%		基準値	93.5%	目標値	100.0%	
年度	実績値		達成率		年度	実績値		達成率	
R3	96.4%		96.40%	B	R3	91.4%		91.40%	B
R4	95.7%		95.70%		R4	88.5%		88.50%	
R5			0.00%		R5			0.00%	
R6			0.00%		R6			0.00%	
R7			0.00%		R7			0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
母子保健および子育て支援相談の充実	新型コロナウイルスの影響により保育所等における保護者全体に対しての育児講座等は実施できなかったが、保護者への個別相談に応じることで育児に対する不安や悩みの解消、精神的負担の軽減を図った。 学校や教育委員会など、地域と児童に関わる他の関係機関との連携について今後検討する必要がある。	今後も引き続き、保育士への研修を継続し、育児講座等の質向上に努める。
妊婦や母子の健康保持・増進のための取組	新型コロナウイルス感染症の影響で、健診や相談事業が中止になったが、子育て世代包括センター「ひだまり」を利用し個々の相談に対応した。また、健診日の拡充や保育所から受診勧奨してもらいつつ、感染症対策を講じながら各種健診等を実施した。 産後ケア事業は利用者の満足度が高くリピーターも多い一方で、利用期間拡充の要望も多かった。	引き続き感染対策を講じ各種健診を実施する。また保育所等と連携し、未受診者への受診勧奨を徹底する。 産後ケア事業については、利用期間の拡充を検討し、子育て支援の充実を図る。
医療費助成による子育て世帯への支援	こどもの医療費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、医療の充実を図った。また、今年度から高校生相当まで対象を拡大したことにより、支援数を伸ばすことができた。	今後も本事業を継続し、子育て支援体制の充実に努めていく。 また、助成方法について高校生相当は福祉課窓口での償還払いであるが、利便性向上のため、令和5年度から「子ども医療費助成受給券」を対象者に交付する現物給付となる。本券を医療機関の支払時に提示することで、その場で医療費助成込の精算をすることができるようになる。
不妊治療を受けている世帯への支援	市ホームページや広報等で不妊治療費助成事業の周知を実施し、対象者からの電話や窓口相談において申請に応じ、助成を行った。また、保健所からの案内により申請する場合についても相談および助成をすることができた。 不妊治療は複数回実施する方もおり経済的負担が大きいことから、対象者の申請漏れがないよう、事業の周知徹底が課題である。	引き続き、対象者への経済負担が軽減されるよう助成を継続する。また、ホームページや広報等で周知の他、保健所や医療機関への周知に努める。

委員評価	引き続き、妊婦や母子の健康維持のための取り組みや、乳幼児へのサポート体制充実のための施策を実施し、安心して出産ができる環境の構築に努めること。
------	---

基本目標3 子どもを産み育てる環境の充実

【施策3】 学校教育期における支援

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	放課後ルーム入所希望者受入率			達成度	指標2	支援教室・セミナーの開催日数			達成度
基準値	100.0%	目標値	100.0%		基準値	108日	目標値	120日	
年度	実績値		達成率		年度	実績値		達成率	
R3	100%		100.00%		R3	115日		95.83%	
R4	100%		100.00%	R4	136日		113.33%		
R5			0.00%	R5			0.00%		
R6			0.00%	R6			0.00%		
R7			0.00%	R7			0.00%		

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
子育て支援施設の充実	勝浦小学校の対象児童の受入れに必要な定員を確保するため、かつうら放課後ルーム建設に向け、勝浦こども園から元勝浦幼稚園敷地へと至る市道整備が完了した。また、設計業務も完了した。 物価高騰の影響を受け、建築費用が当初の想定より大幅に増大したことから、建築工事の実施について再検討を行う。	令和5年度においては建築工事の実施について再検討を行う。
医療費助成による子育て世帯への支援	こどもの医療費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、医療の充実を図った。また、今年度から高校生相当まで対象を拡大したことにより、支援数を伸ばすことができた。	今後も本事業を継続し、子育て支援体制の充実に努めていく。 また、助成方法について高校生相当は福祉課窓口での償還払いであるが、利便性向上のため、令和5年度から「子ども医療費助成受給券」を対象者に交付する現物給付となる。本券を医療機関の支払時に提示することで、その場で医療費助成込の精算をすることができるようになる。
学校給食費の負担軽減による子育て世帯への支援	令和3年度においては、市内在住の小中学生の保護者に対して学校給食費の半額補助をおこなったが、令和4年度は全額補助することにより、経済的負担をさらに軽減することができた。補助額が増えたので、財源の確保が課題である。	財源の確保を含め、事業の実施を検討していく。
特色ある学校教育の推進	令和4年度においては千葉工業大学と連携したロボットを用いた教室を行うなど、学校毎に特色ある教育活動を展開することができたが、内容において学校間において開催頻度など格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。	国際武道大学や千葉工業大学など関係機関と連携した教育活動を展開していく。
情報化の推進による学校や家庭における学習環境の整備	小中学校におけるタブレットの配布やWi-Fi環境など、ICT環境の整備を推進するとともに、ICT教育を支援するGIGAスクールサポーターを配置し、教職員のICT機器活用能力の向上を図った。	引き続き、小中学校におけるICT環境の充実を図るとともに、教職員のICT機器活用能力の向上に努めていく。
国際武道大学との連携による運動指導等の充実	新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生バレーボール教室等の一部交流事業を行うことはできなかった。 また、今後は部活動の指導を地域の人や団体に段階的に移行する「部活動の地域移行」を踏まえての事業展開が必要である。	部活動の地域移行を見据えての事業として展開していく。
地域全体で子どもの学びや成長を支える地域づくりの推進	学校支援ボランティア制度実施要項に基づき、ボランティアによる学校支援活動事業を実施した。また、小学生、中学生に多様な体験活動を実施し、学習支援や英語教室、水泳教室、地域未来塾などを実施した。	地域との連携は非常に重要であり、子供たちにとって大変有意義な学習や体験ができ、今後も継続すべきと考える。

委員評価	引き続き学校教育期における支援の充実を図るとともに、子育て世帯の移住促進に向け、支援の充実のPRに努められたい。
------	--

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

●数値目標	基準値	17,055人	実績値	R3	R4	R5	R6	R7
人口	目標値	15,407人		16,596人	16,203人			

【施策1】 地域公共交通の確保

※基準値＝令和元年度 目標値＝令和7年度

【評価凡例】

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1 予約制乗合タクシーの1日あたり乗車人数			達成度	指標2 市内路線運行回数			達成度
基準値	19.8人	目標値 20.0人		基準値	47回/日	目標値 47回/日	
年度	実績値	達成率		年度	実績値	達成率	
R3	12.4人	62.00%		R3	41回/日	87.23%	
R4	13.1人	65.50%	C	R4	41回/日	87.23%	B
R5		0.00%		R5		0.00%	
R6		0.00%		R6		0.00%	
R7		0.00%		R7		0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
JR外房線の運行維持及び利便性向上のための取組	外房線は、産業・観光発展の基盤として首都圏と地域をつなぐ重要な役割を果たす一方、通勤・通学など地域住民の生活を支える重要な交通手段であり、その利便性向上は、当地域の持続的発展に必要不可欠であることから要望活動は継続する必要がある。	運行本数の維持、接続改善を要望するとともに障害者や高齢者への安全対策や踏切付近における安全確保等も求めていく必要がある。 また、令和4年夏にJR東日本より収支状況の悪い線区として外房線(勝浦・安房鴨川間)が公表されたことを受け、千葉県や関係自治体と連携しながら利用促進等について取組を行っていく。
市内路線バスの運行維持及び利便性向上のための取組	市内バス路線の維持による市民の移動手段の確保は重要であり、バス路線運行維持補助金により、運行維持に係る損失補填等は妥当と考える。 また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、運行事業者の収益は悪化していることが見込まれることから、運行事業者と十分な協議のうえ、バス路線の維持を図っていく必要がある。 なお、令和3年度及び令和4年度については新型コロナや燃油高騰の影響を勘案し、バス路線運行費補助金の上限額を1,300万円とした。	令和4年度に策定した地域公共交通計画の推進により、持続可能かつ利便性の高い交通体系をの維持を図っていく。 また、都市間交通である高速バス路線についても、運行事業者と利便性向上に向けて協議を進める必要がある。
予約制乗合タクシー(デマンドタクシー)の運行	公共交通の不便地域における分散した少ない需要に対して、デマンドタクシーの運行は有効と考える。 新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会が減り、乗車人数は減少したが、感染対策を徹底したうえで、移動手段の確保のためデマンドタクシーの運行は継続する必要がある。	デマンドタクシーの利用者アンケートへの対応や地域公共交通計画を推進するなかで、利便性向上を図るとともに、運行区域の拡大等の検討についても検討を行う。

委員評価	デマンドタクシーの運行について、利便性の向上を図るとともに、交通事業者への要望活動を継続し、地域公共交通の確保に努めること。
------	--

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

【施策2】 魅力ある地域づくりの推進

●重要業績評価指標 (KPI)

指標1	市民文化教室参加者数		達成度	指標2	芸術文化交流センター来館者数		達成度	指標3	住民主導型地域づくり支援事業件数(延べ)		達成度
基準値	802人	目標値	800人	基準値	136,955人	目標値	100,000人	基準値	-	目標値	15団体
年度	実績値			年度	実績値			年度	実績値		
R3	401人		50.13%	R3	53,094人		53.09%	R3	1団体		6.67%
R4	305人		38.13%	R4	27,813人		27.81%	R4	3団体		20.00%
R5			0.00%	R5			0.00%	R5			0.00%
R6			0.00%	R6			0.00%	R6			0.00%
R7			0.00%	R7			0.00%	R7			0.00%

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
多様なニーズに対応した学習機会の提供	市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心に応えるため各種文化教室・講座を開催。また、芸文協まつりを3年ぶりに開催することができ、市民の文化活動・交流活動の活性化が図られた。各種文化教室・講座の定員充足率は高く、講師料は比較的安価であり費用対効果は高い事業と考えるが、参加率の低い若い世代・男性のニーズの把握に努める必要がある。また、海の博物館と連携した磯の観察会は、学芸員の解説により普段見落としがちな生物まで観察することができた。各種学級については、高齢者や女性等が生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供することは市民の交流を深めることにもつながり有効であることから、新型コロナウイルス感染の予防対策を講じて講座を実施した。	定員充足率や参加者アンケート等を参考に、市民のニーズの把握に努め、これに応えるべく様々な文化教室・講座の継続や新たな教室・講座の開催を検討し、更なる充実を図る。磯の観察会については、郷土の自然環境をより深く学習することは重要であるため今後も継続していく。また、各種学級は地域の連携は非常に重要であり、参加者も多く好評であるため今後も継続すべきと考える。
サークル活動の支援	自主的に活動する学習の場の提供の他、芸術文化交流センター等の施設利用促進や各種文化教室・講座を開催し、新規サークル団体の発足など、市民の文化活動・交流活動の活性化が図られた。しかしながら感染症拡大の影響により活動が低調となり解散する団体もあった。また、施設使用料の減免によりサークル団体の利用促進を図っており、また、サークル紹介・会員募集チラシ等の掲示やホームページでのPRなど、経費なく実施している。サークル団体が施設を使用する場合の使用料(減免規定に基づき最大7割)と通常使用料との格差が大きいため、サークル活動の支援、受益者負担の原則など、様々な観点から適正な使用料負担(減免率)のあり方について検討を続ける必要がある。	市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心は高く、これらの受け皿としてのサークル団体の文化活動・交流活動の支援は重要と考え、今後も継続して実施する。芸術文化交流センター及び各集会所の利用促進や、各種文化教室・講座の開催による新規サークル団体の発足のきっかけを創出し、市民の文化活動・交流活動の活性化に努めるものとする。サークル活動の支援、受益者負担の原則など、様々な観点から適正な使用料負担(減免率)のあり方について引き続き検討する。
芸術文化公演の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から縮小・中止・延期をした事業もあり、来場者数・開催回数ともに減少したが、市民が心豊かな生活を送るため、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供するとともに、市民及び近隣地域住民の交流促進が図った。公演委託料及び広報宣伝費等の経費節減を図っており、現状の事業費は適正と考えるが、来場者を増やすことで更なる効率性の向上が期待できる。	市民の様々な芸術・文化に対するニーズに応えるため、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供する本事業は有効性が高く、今後も継続して実施する。入場料収入の確保及び有効な宣伝方法及び開催方式(共催)等について検討し、可能な限り収支の均衡を図り、経費節減に努めるものとする。また、次年度は、施設の維持及び自主イベントの充実に導入について民間活力の活用を検討するための情報収集を実施する。
スポーツを通じた健康づくりの推進	各種スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底することで実施できた。また、市民のスポーツ大会やスポーツ教室の実施団体であるスポーツ協会やスポーツ推進員等の団体活動への支援を図ることで、市民に対し広くスポーツの機会を提供することができ、実技指導及び体力向上などのスポーツ振興に対し、大きな功績をあげた。	スポーツ振興及び健康で活力のある市民生活を営むうえでも、各種スポーツ教室の開催は重要な事業を認識しており、今後もニーズを的確に把握し事業を継続すべきと考える。また、市民のスポーツ振興と健康づくりを推進するため、各種スポーツ団体との連携を強化し継続して支援を図る必要があると考える。
地域団体等による自主的なまちづくり活動の支援	青少年によるまちづくり提案事業では、国際武道大学に働きかけることで、新たに2団体が活動を行った。住民主導型地域づくり支援事業では、新型コロナの影響により活動を休止していた団体が活動再開したことから、2団体の活動を支援することができた。更なる活動団体の増加のためには、活動団体の掘り起こしやまちづくり活動の理念の醸成に向けた取り組みの必要がある。	広報での制度周知により、内容の問い合わせが増えたことから、引き続き、“市民協働のまちづくり”の理念の醸成に向けた取り組みを行うとともに、活動団体の掘り起こしに努める。

委員評価	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限により実績が低くなっているが、引き続き市民が質の高い芸術・文化に触れる機会の提供により、魅力ある地域づくりの推進に努めること。
------	---

基本目標4 ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現

【施策3】 安心・安全な暮らしの確保

●重要業績評価指標(KPI)

自主防災組織率			達成度	防犯カメラ設置台数			達成度
指標1	基準値	目標値		指標2	基準値	目標値	
年度	実績値			達成率	年度	実績値	
R3	61.0%	79.12%	B	R3	27台	75.00%	B
R4	57.4%	74.45%		R4	29台	80.56%	
R5		0.00%		R5		0.00%	
R6		0.00%		R6		0.00%	
R7		0.00%		R7		0.00%	

●事業評価

主な取組	令和4年度実施状況	今後の展開
高齢者等の包括的な支援	高齢者の総合窓口として、総合的、包括的に相談支援を行うことができた。また、高齢者支援の関係機関と連携を図るためのネットワークの構築を推進した。	相談内容は、軽微なものから専門性の高い内容等、さまざまであり、1回の相談で解決できない事案が増えてきている。昨年同様引き続き、包括支援センターの専門職が、それぞれ自己研鑽して技能を向上させるとともに、事案によっては外部の支援も必要になるため、病院等の外部機関とのネットワークの構築に引き続き努める。
自主防災組織の設立促進	今年度は新たな自主防災組織の設立に至らず、また、新規備品配備の希望も無い状況であった。今後も引き続き自主防災組織未設立区への働きかけを継続する。	新型コロナウイルス対策のため自粛していた各種訓練が再開する機会をとらえ、各地区への働きかけを行う。
消防防災施設・設備の充実	新しい免許制度に対応し、普通自動車免許でも運転できる消防車両を配備することが出来た。消防器具置場兼詰め所の建て替えについては、前提となる班の合併に関する協議の遅れから更新工事が止まっている状況で有る。	今後とも適正な車両更新に努めていく。また、班の統合について、団側との協議を継続する予定。
防犯カメラの設置推進	今年度は新規に2台、旧型1台を更新した。市内各地への設置や更新が進み、犯罪抑止や警察からの捜査協力に役立てる事が出来た。	引き続き、老朽化したカメラの更新とともに新規設置場所の選定について、警察と綿密な協議を行う。
交通安全の啓発	交通安全協会、勝浦警察署と連携し保育所、幼稚園、小中学校において交通安全教室を開催。交通安全運動期間中のキャンペーン運動を実施。交通安全協会に対し、補助金を交付し、交通安全に関する啓発活動等を支援。各種の活動により交通事故防止への効果が有った。	今後も市民への交通安全知識の啓発に努める。

委員評価	各種訓練等により、防犯・防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の拡充をはじめとする自助・共助・公助の体制づくりに努めること。また、安全・安心な暮らしの確保に向け、防災情報の伝達の向上を図られたい。
------	--